

平成 22年3月 31日現在

研究種目：基盤研究 (C)  
研究期間：2007～2010  
課題番号：19520577

研究課題名 (和文) 日中戦争期における同仁会の活動実態

研究課題名 (英文) The Activity of The Dojinkai in the Japan-China War period

研究代表者 中川 (末永) 恵子 (KEIKO SUENAGA)  
公立大学法人福島県立医科大学・医学部・講師  
研究者番号：10315658

研究代表者の専門分野：人文学  
科研費の分科・細目：史学・日本史  
キーワード：近代史・日中戦争・同仁会

## 1. 研究計画の概要

本研究は、日中戦争期の同仁会の活動実態を明らかにすることによって、非軍事部門の医療団体が、いかに日中戦争に対応したのかを、防疫や医療活動と医療調査・研究の内容分析を行って把握する。

また、同仁会という組織を歴史社会的に考察するために、同仁会本部・中国の現地医院・外務省・陸海軍との関係のあり方を分析し、戦争協力の問題に接近する。

さらに同仁会の医療が、占領地の人々に与えた影響について中国側の史料を探索しながら、考察したい。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 外務省外交史料館の同仁会関係史料の分析により、同仁会の診療救護班や防疫班の戦地への派遣の背景や派遣状況が次のように具体的に把握できるようになった。

①1937年8月から中国の国民政府は、国際連盟に対して「伝染病の予防と制御および一般市民と避難民の全般的な救済」を訴えて衛生防疫班の人道支援を要請した。国際連盟は、中国政府の要請を受け入れ、防疫班を派遣した。この防疫班に対抗すべく日本の外務省が設置を構想し実行したのが、同仁会防疫班派遣であった。したがって、派遣は国際連盟に対抗した派遣であったことを述べた。

②もうひとつの派遣の動機として、戦禍につつまれた占領地で伝染病が広がり、軍や領事館から防疫の要請が起こったことが挙げられる。上海や南京などの都市においては、特に一般市民が戦禍を被り、多数の難民となった。劣悪な環境下、コレラなどの伝染病患者が多数発生し、軍では、伝染病の波及が最も恐れられていた。伝染病の防遏ため、防疫

班・救護班の派遣が現地から要請された。

(2) 派遣された同仁会職員がどのように中国で治療や防疫を実施していたのかについても日誌や報告書の分析によって、だんだん解明されてきた。『同仁』『同仁会医学雑誌』に掲載された、調査研究報告や中国での医療の感想を分析することにより、研究内容や医師の中国人観・中国観を把握することができた。

(3) 同仁会が活動範囲を拡大させてゆく基盤である政府補助金の予算について、外務省外交史料館の史料の閲覧によって、会の初期から終焉まで把握することができるようになった。

## 3. 現在までの達成度

②やや遅れている。

個別事象の検証に手間取り、全体的把握がおろそかになってしまった。同仁会の特徴を鮮明に打ち出した、全般的把握、研究調査の集約につとめたい。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1) 同仁会の全体像を打ち出すためのより深い分析を行ってゆきたい。

(2) 日本赤十字社との比較を行う。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

①末永恵子、戦時下日本の関東軍国境要塞が映す戦争犯罪、本の科学者44巻5号40～43ページ、2009、査読無

②末永恵子、生理学者横山正松と戦争（上）、日本生理学会雑誌71巻6号、223～231 ページ、2009、査読無

③末永恵子、生理学者横山正松と戦争（下）日本生理学会雑誌71巻7・8号247～255 ページ、2009、査読無

④末永恵子、日中戦争期の同仁会による対中国医療支援、日本の科学者44巻8号42～43ページ、2009、査読無

⑤末永恵子、15年戦争期の大学における医学研究—旧満州医科大学を事例として、日本の科学者43巻2号、16～21 ページ、2008、査読無

⑥末永恵子、南京事件の難民への医療支援—南京安全区国際委員会と同仁会—、15年戦争と日本の医学医療研究会誌9巻1号、13～18 ページ、2008、査読無

⑦末永恵子、日中戦争期の国際連盟による対中防疫支援と日本、15年戦争と日本の医学医療研究会誌8巻1号、41～47 ページ、2007、査読無

〔学会発表〕（計4件）

①末永恵子、日中戦争期における対中国支援事業の変容、宮城歴史科学研究会、平成21年9月26日、仙台

②末永恵子、医学・医療者の戦争責任、日本科学者会議第17回総合学術研究集会、平成20年11月23日、名古屋

③末永恵子、戦争と医師—医師の戦争体験と反戦・反核運動—、第23回保団連医療研究集会、平成20年10月12日、仙台

④末永恵子、医療支援団体・同仁会の戦争協力、第4次731部隊罪行国際学術検討会、平成20年9月19日、中国哈爾濱市